

学年：3年	単元名：6. ぼうグラフと表 一見やすく整理して表そう
-------	--------------------------------

1. 単元目標：(全9時間)

○日常の事象について、観点別にデータを分類整理することについて理解し、表や棒グラフに表したり読んだりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して表やグラフから見出したことを考察する力を養うとともに、データを整理し考察した過程を振り返り、今後の学習や日常生活に生かそうとする態度を養う。

考判表・身の回りにある事象について、目的に応じて観点を決め、資料を分類整理し、表やグラフにまとめようとする。
 ・出来上がった表やグラフを考察しようとする。

知・技・資料を分類整理して表や棒グラフに表すことができる。
 ・表や棒グラフから資料の特徴や項目間の関係を読み取ったりすることができる。
 ・棒グラフの読み方やかき方、表を用いた表し方について理解する。

2. 指導内容

3. 指導のポイント

○身の回りにある事象について、目的に応じて観点を決め、資料を分類整理し、表にまとめることができる。

- ・何を知りたいか？→どんな表がいいか？
- ・かいた表は、知りたいことがよくわかるか？その他にどんなことがわかるか？
- ・問題点はないか？→どうすれば解決できるか。
- ・「調べる表」と「完成した表」に分ける。

調べる表：項目だけ・正の字

完成した表：表題・項目名・その他・合計が、加わる。

- ・いくつかの表を1つにまとめる方法は、教える。

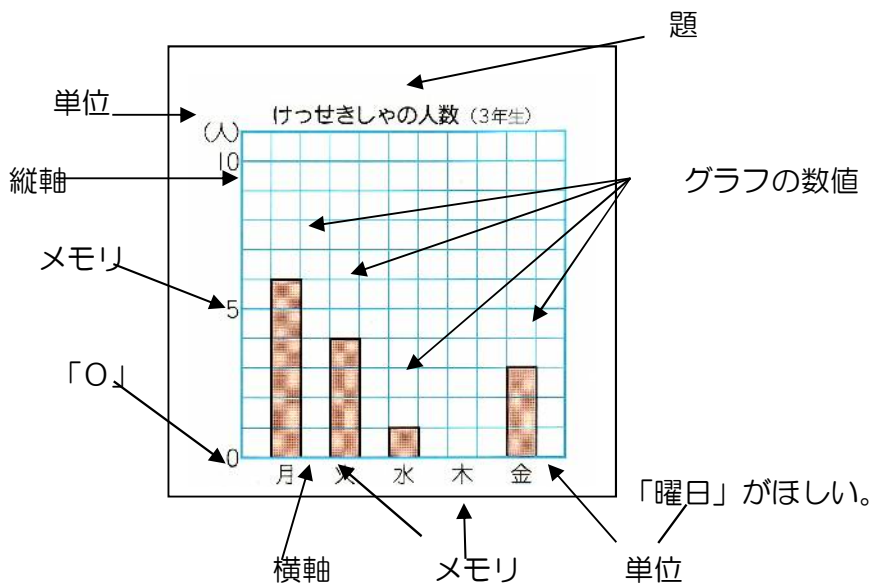
○ぼうグラフの読み取り。

- ・ぼうの長さが、「量」を表している。
- ・グラフを見てどんなことがわかるか考える。

○表やぼうグラフのかき方の指導。

- ・正確にかけるよう徹底した指導が必要。

(たて、たて、よこ、よこ、まるかいて どん かっこ・かっこ)



※メモリが、線の間にくいているのが特徴。
折れ線グラフの指導のとき注意が必要。

※各 1ポイント グラフの数値だけ2ポイント 計 10ポイント
 ○グラフの指導は、「かき方」→「読み取り」の順で指導したほうがよいと考える。

4. 指導にあたって

- ①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。
- ②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○表のかき方を知って、表をかこう。(P66/67/68)

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>(導入) 表や棒グラフについて学習することを知らせる。</p> <p>1. 問題把握 T:P67を開きましょう。学校でおきたけがをした時間をしめしています。わかり易く整理する方法を考えましょう T:整理する方法には、どんなものがありますか。 C:表。グラフ。 T:そうですね。今から、表やグラフのかき方やそこからわかることについて勉強していきます。まず、表から勉強します。 T:表のかき方ですが、人数を数えるとき、もれや重なりがないようにするためには、どんなかぞえ方がありますか。知っている人はいませんか。→C:「正」の字を書いていく。 T:そうですね。「正」の字を書いていくといいですね。 T:では、プリントを見ましょう。(説明) では、落ちや重なりがないように調べていきましょう。 ※読み上げて、調べる表にかかせていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・導入 ・学習する内容の明確化 ・表をかく目的の明確化。 ・「正」以外のものについても紹介する。「玉」 ・WS①の説明
<p>2. 自力解決・学びあい ※「完成の表」かくように指示する。 ※早くできた子どもには、表を見てわかることをかくよう指示する。 T:では、答え合わせをします。 ※ワークシートの表に何を書き込んだらいいか考えさせながら答え合わせをしていく。 T:完成の表には、見る人がわかりやすいように「表題」や「項目」「合計」をかき込むのですね。 T:では、表を見て、どんなことがわかるか発表してもらいます。 まず、一番多い時間帯は、いつですか。→C:休み時間 T:そうですね。表を見ればすぐにわかりますね。その他にいろいろなことがわかります。発表しましょう。 C:一番少ない時間帯は、・・・・。 ※「表を見てわかること」と「表を見て、たぶんそうだろうなあと思われること」を発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・WS①記入。 ・単に数値を読むだけでなく、そこから考えられることを発表させたい。 ・「読み」から「読み取り」を学習させたい。 ・WB
<p>3. まとめ・ふりかえり T:わかったことをしっかりまとめておきましょう。 1. はっきりとわかること 2. きっとそうだろうなあと考えられること</p>	

第2時

学習のめあて（作業・知る・考える）
○表のかき方に慣れよう。（P70）

OP70 けがをした場所と人数の表（WS②）P149

- 「その他」について説明を加えておく。
 - ・少ないものは、「その他」としてまとめ、最後にかく。

第3時

学習のめあて（作業・知る・考える）
○ぼうグラフのかき方を知って、ぼうグラフをかこう。（P70/71）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握 T:今日は、グラフの勉強です。グラフには、いろいろなグラフがあります。知っているグラフを言ってみましょう。 C:ぼうグラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフ・・・・・・ T:いろいろありますね。そのなかで、3年生では、ぼうグラフのかき方と読み方を勉強します。 T:まず、かき方です。ぼうグラフのかき方を説明します。 ※かき方の説明 「たて・たて・横・横・まるかいて・どん・かっこ・かっこ」 横のメモリが、線の間にくいているのが特徴。 ※子どもたちと一緒にかいていく。（P70 けがをした場所と人数） ※たてのメモリとよこのメモリを少しはみ出すようにかく。 数値の場所をはっきりさせるため。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ黒板 ・動作化しながら指導する。 ・WS③
<p>2. 自力解決・学びあい T:では、P70④の資料で棒グラフをかきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・WS③ ・個別指導
<p>3. まとめ・ふりかえり T:かき方をしっかりおぼえておきましょう。 ※動作化で定着を図る。</p>	

第4時

学習のめあて（作業・知る・考える）
○ぼうグラフを見てわかることを見つけよう。（P69）

○P69①②③④⑤

- その他にわかることを書こう。
 わかることは、2種類ある。
 1. 数値等ではっきりわかること。
 2. きっとそうだろうと思われること。

○ぼうグラフのまとめ

- (かき方)・たて、たて、よこ、よこ、まるかいて、どん、かっこかっこ
 - ・少ないものは、まとめて「その他」⇒「その他」の項目は、最後に。
 - ・数値の大きい順にかくこともある。
 - ・1メモリ：1・2・5・10・20・50・100・・・・・・
- (わかったこと)・数値等ではっきりとわかりこと
 - ・きっとそうだろうとおもわれること

第5時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○棒グラフのめもりについてかんがえよう。(P72/73)

OP72①②③ P73④⑤

- ・特徴が、わかりやすいようにめもりを考える。
1めもりをいくらにするか考える。
- ・1めもりを「2」にしたグラフを完成させてから考える。

○グラフを見てほかにどんなことがわかるか?かく。

第6時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○グラフをかいったり読み取ったりしよう。(P74/75)

1. P74①

○その他のわかることをかく。

2. P74②

○その他のわかることをかく。

3. P75③グラフをかく。(教科書)

4. P75④

○その他のわかることをかく。

第7時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○3つの表を合わせた表をかこう(P76)

1. 表をかく。(教科書に記入)

2. どんなことがわかるかかく。

第8時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○いかしてみよう。(P77)

第9時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○たしかめよう。算数の目。(P78/79)